

## 平成22年10月期 第2四半期決算短信

平成22年6月4日

上場会社名 ナトコ株式会社

上場取引所 JQ

コード番号 4627 URL <http://www.natoco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 粕谷忠晴

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 山本豊

四半期報告書提出予定日 平成22年6月14日

配当支払開始予定日

TEL 0561-32-2285

平成22年7月12日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年10月期第2四半期の連結業績(平成21年11月1日～平成22年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年10月期第2四半期	5,802	24.8	576	—	606	—	290	—
21年10月期第2四半期	4,650	—	△83	—	△128	—	△398	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年10月期第2四半期	39.61	—
21年10月期第2四半期	△54.38	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年10月期第2四半期	15,661	11,954	72.9	1,558.02
21年10月期	15,538	11,622	71.7	1,520.18

(参考) 自己資本 22年10月期第2四半期 11,411百万円 21年10月期 11,134百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年10月期	—	6.00	—	6.00	12.00
22年10月期	—	8.00	—	—	—
22年10月期 (予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

### 3. 平成22年10月期の連結業績予想(平成21年11月1日～平成22年10月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,900	17.4	1,130	232.7	1,160	322.1	535	—	73.05

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 —社 (社名 ) 除外 —社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年10月期第2四半期 7,324,800株 21年10月期 7,324,800株

② 期末自己株式数 22年10月期第2四半期 631株 21年10月期 631株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年10月期第2四半期 7,324,169株 21年10月期第2四半期 7,324,169株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめ新興国の需要増加や政府の経済対策等により、一部に景気の持ち直しの動きが見られるものの、設備投資の抑制や依然として続く厳しい雇用・所得環境から個人消費は低迷し、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは当連結会計年度も前連結会計年度に引き続きコスト削減に努め、また、原材料等の見直しなどによる原価低減に取り組むとともに、顧客ニーズに即した製品の開発・拡販に注力いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高5,802百万円（前年同期比24.8%増）、営業利益576百万円（前年同期は83百万円の営業損失）、経常利益606百万円（前年同期は128百万円の経常損失）、四半期純利益290百万円（前年同期は398百万円の四半期純損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①塗料事業

金属用塗料分野では、全体としてはまだ回復半ばの状況であるものの、長期低迷していた工作機械関連等で生産量の回復の動きが出てきたことにより、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。木工建材用塗料分野では、新規住宅着工件数減少の影響で市況の低迷が続いておりますが、一部の大手ユーザーにおいてシェアアップが図れたことにより、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。無機材用塗料分野でも、同様に市況の低迷が続いているものの、大手ユーザーでの新規提案製品の採用率が高まったことにより、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。その他の分野では、シンナーで新規ユーザーの獲得ができたことや、樹脂素材分野において携帯情報端末への採用が増加したことにより、売上高は前年同期に比べ大幅に増加いたしました。

その結果、塗料事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は4,821百万円（前年同期比21.6%増）となりました。

#### ②ファインケミカル事業

LCD用微粒子は、LCDメーカーの生産量の回復を受けて需要が増加したことにより、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。化成品におけるシリコン系表面機能材料や光学材料向けの自己治癒コーティング材につきましても、メーカーの生産量の回復で需要が増加したことにより、売上高は前年同期に比べ大きく増加いたしました。

その結果、ファインケミカル事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は905百万円（前年同期比47.8%増）となりました。

#### ③その他の事業

産業廃棄物の収集運搬におきましては、企業の生産活動が回復しつつあり、廃液の排出量も増加してきたことにより、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、その他の事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は75百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ122百万円の増加となり、15,661百万円となりました。また、負債は、前連結会計年度末に比べ210百万円の減少となり、3,706百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ332百万円の増加となり、11,954百万円となりました。

資産の増加の主な要因は、受取手形及び売掛金が224百万円減少、投資有価証券が204百万円減少したものの、現金及び預金が699百万円増加したもののことによるものであります。

負債の減少の主な要因は、未払法人税等が254百万円増加したものの、未払金が568百万円減少したことによるものであります。

純資産の増加の主な要因は、利益剰余金246百万円の増加によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ597百万円増加し、4,485百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1,109百万円（前年同期比1,528.8%増）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益605百万円、減価償却費277百万円、売上債権の減少226百万円による資金の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、470百万円（前年同期は132百万円の収入）となりました。これは主に資金運用における有価証券、信託受益権及び投資有価証券の売却等による収入1,569百万円による資金の増加と有形固定資産の取得による支出493百万円、有価証券、信託受益権及び投資有価証券の取得による支出1,516百万円による資金の減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、44百万円（前年同期比24.7%減）となりました。これは配当金の支払44百万円によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年10月期の通期の業績予想につきましては、平成22年3月5日に公表した業績予想及び配当予想を修正いたしました。業績の修正内容につきましては、本日（平成22年6月4日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①たな卸資産の評価方法

当第2四半期連結累計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

②一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結累計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

③固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法を採用しております。

④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,542,869	3,843,809
受取手形及び売掛金	3,519,967	3,744,872
有価証券	299,399	199,970
商品及び製品	642,791	604,690
仕掛品	59,799	47,885
原材料及び貯蔵品	320,352	284,985
繰延税金資産	113,565	81,675
その他	555,108	688,317
貸倒引当金	△6,389	△6,907
流動資産合計	10,047,464	9,489,300
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,340,846	2,428,477
機械装置及び運搬具（純額）	759,868	850,513
土地	1,713,470	1,713,470
その他（純額）	151,063	174,314
有形固定資産合計	4,965,248	5,166,775
無形固定資産	141,196	160,992
投資その他の資産		
投資有価証券	327,835	532,621
繰延税金資産	7,183	6,904
その他	277,860	288,896
貸倒引当金	△105,509	△106,799
投資その他の資産合計	507,369	721,621
固定資産合計	5,613,815	6,049,390
資産合計	15,661,279	15,538,691
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,236,078	2,240,870
未払法人税等	298,572	43,916
賞与引当金	194,419	183,459
役員賞与引当金	12,330	6,350
その他	533,002	1,036,064
流動負債合計	3,274,402	3,510,660

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年10月31日)
<b>固定負債</b>		
退職給付引当金	89,889	91,720
役員退職慰労引当金	186,628	180,345
繰延税金負債	29,040	10,373
その他	126,379	123,316
固定負債合計	431,938	405,755
<b>負債合計</b>	<b>3,706,340</b>	<b>3,916,415</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	2,288,760	2,288,760
利益剰余金	7,432,987	7,186,821
自己株式	△2,427	△2,427
株主資本合計	11,345,660	11,099,494
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	37,583	12,131
為替換算調整勘定	27,991	22,457
評価・換算差額等合計	65,575	34,588
<b>少数株主持分</b>	<b>543,703</b>	<b>488,191</b>
<b>純資産合計</b>	<b>11,954,939</b>	<b>11,622,275</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>15,661,279</b>	<b>15,538,691</b>

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年4月30日)
売上高	4,650,515	5,802,644
売上原価	3,783,989	4,169,413
売上総利益	866,526	1,633,231
販売費及び一般管理費	950,087	1,056,307
営業利益又は営業損失(△)	△83,561	576,923
営業外収益		
受取利息	6,946	4,850
受取配当金	3,470	1,742
投資有価証券評価益	3,544	1,642
為替差益	—	2,694
助成金収入	—	8,253
その他	12,857	16,621
営業外収益合計	26,818	35,804
営業外費用		
支払利息	185	51
売上割引	9,155	4,804
為替差損	2,189	—
貸倒引当金繰入額	59,980	892
その他	0	572
営業外費用合計	71,511	6,320
経常利益又は経常損失(△)	△128,254	606,406
特別利益		
貸倒引当金戻入額	348	1,171
固定資産売却益	9	—
投資有価証券売却益	2,280	—
特別利益合計	2,638	1,171
特別損失		
固定資産処分損	7,668	1,849
投資有価証券評価損	999	—
投資有価証券売却損	45,077	265
その他	749	—
特別損失合計	54,495	2,114
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△180,111	605,463
法人税、住民税及び事業税	25,077	290,790
法人税等調整額	158,397	△30,658
法人税等合計	183,475	260,132
少数株主利益	34,715	55,219
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△398,302	290,111

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年2月1日 至 平成21年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年2月1日 至 平成22年4月30日)
売上高	2,166,132	2,992,009
売上原価	1,771,900	2,156,725
売上総利益	394,232	835,284
販売費及び一般管理費	464,431	546,082
営業利益又は営業損失(△)	△70,199	289,202
営業外収益		
受取利息	3,279	2,381
受取配当金	1,469	115
投資有価証券評価益	21,837	5,256
為替差益	9,987	5,053
その他	3,097	15,407
営業外収益合計	39,671	28,214
営業外費用		
支払利息	23	19
売上割引	3,702	2,436
貸倒引当金繰入額	59,980	—
その他	0	572
営業外費用合計	63,705	3,027
経常利益又は経常損失(△)	△94,233	314,389
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	2,770
固定資産売却益	9	—
特別利益合計	9	2,770
特別損失		
固定資産処分損	2,966	1,432
投資有価証券評価損	999	—
その他	749	—
特別損失合計	4,716	1,432
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△98,940	315,727
法人税、住民税及び事業税	21,313	201,083
法人税等調整額	97,577	△68,270
法人税等合計	118,890	132,813
少数株主利益	18,531	30,528
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△236,362	152,385



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△180,111	605,463
減価償却費	272,318	277,706
貸倒引当金の増減額(△は減少)	57,494	△1,807
退職給付引当金の増減額(△は減少)	24,633	△1,831
受取利息及び受取配当金	△10,416	△6,592
支払利息	185	51
有価証券売却損益(△は益)	—	△2,141
投資有価証券売却損益(△は益)	42,797	265
投資有価証券評価損益(△は益)	△2,544	△1,642
固定資産処分損益(△は益)	7,618	1,735
固定資産売却損益(△は益)	△9	—
為替差損益(△は益)	2,189	△2,893
売上債権の増減額(△は増加)	1,085,968	226,216
たな卸資産の増減額(△は増加)	263,723	△84,135
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,163,847	△5,221
その他	△257,708	10,856
小計	142,290	1,016,030
利息及び配当金の受取額	10,568	6,712
利息の支払額	△185	△51
法人税等の還付額	—	123,863
法人税等の支払額	△84,533	△36,725
営業活動によるキャッシュ・フロー	68,138	1,109,828
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△2,000
定期預金の払戻による収入	150,000	—
有形固定資産の取得による支出	△314,421	△493,111
有形固定資産の売却による収入	1,953	35
有価証券の取得による支出	—	△316,190
有価証券の償還による収入	—	200,000
有価証券の売却による収入	—	18,381
信託受益権の取得による支出	△800,000	△1,100,000
信託受益権の売却による収入	902,355	1,100,998
無形固定資産の取得による支出	△6,210	△28,203
投資有価証券の取得による支出	△669	△99,991
投資有価証券の売却による収入	199,850	249,735
関係会社短期貸付金の貸付による支出	△10,000	△23,000
関係会社短期貸付金の回収による収入	—	10,000
関係会社長期貸付金の回収による収入	11,268	15,600
差入保証金の差入による支出	△622	△413
差入保証金の回収による収入	392	—
その他	△1,862	△1,862
投資活動によるキャッシュ・フロー	132,034	△470,021

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△58,521	△44,039
財務活動によるキャッシュ・フロー	△58,521	△44,039
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,190	1,329
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	139,461	597,096
現金及び現金同等物の期首残高	3,876,797	3,888,773
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,016,258	4,485,869

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年11月1日 至平成21年4月30日）

	塗料事業 (千円)	ファインケ ミカル事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売 上高	3,965,873	612,800	71,842	4,650,515	—	4,650,515
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	3,965,873	612,800	71,842	4,650,515	(—)	4,650,515
営業利益又は営業損失 (△)	△8,293	△4,203	31,043	18,545	(102,107)	△83,561

当第2四半期連結累計期間（自平成21年11月1日 至平成22年4月30日）

	塗料事業 (千円)	ファインケ ミカル事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売 上高	4,821,076	905,816	75,750	5,802,644	—	5,802,644
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	4,821,076	905,816	75,750	5,802,644	(—)	5,802,644
営業利益	499,144	161,154	40,238	700,537	(123,613)	576,923

(注) 1. 事業区分は、売上の集計区分によっております。

2. 各事業の主要な製品

塗料事業	合成樹脂塗料及びシンナー
ファインケミカル事業	LCD用微粒子、高機能性樹脂
その他の事業	廃溶剤の収集運搬

3. 会計処理の方法の変更

前第2四半期連結累計期間（自平成20年11月1日 至平成21年4月30日）

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分）を適用しております。これに伴い、従来の方法によった場合と比べ、営業損失は塗料事業で2,668千円、ファインケミカル事業で42,572千円それぞれ増加しております。

4. 追加情報

前第2四半期連結累計期間（自平成20年11月1日 至平成21年4月30日）

(有形固定資産の耐用年数の変更)

当第1四半期連結会計期間より、法人税法の改正を契機として耐用年数の見直しを行い、有形固定資産の一部について耐用年数の変更を行っております。この変更に伴い、従来の方法によった場合と比べ、営業損失が塗料事業で7,390千円増加、ファインケミカル事業で1,207千円減少しております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年11月1日 至平成21年4月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年11月1日 至平成22年4月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年11月1日 至平成21年4月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年11月1日 至平成22年4月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	755,063	12,790	767,854
II 連結売上高（千円）			5,802,644
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	13.0	0.2	13.2

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・・・中国、韓国、台湾等

(2) その他の地域・・・アメリカ等

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

## (1)販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年4月30日)	前年同四半期比 (%)
塗料事業 (千円)	3,965,873	4,821,076	+21.6
金属用塗料 (千円)	1,593,785	1,797,879	+12.8
木工建材用塗料 (千円)	936,316	1,058,669	+13.1
無機材用塗料 (千円)	860,545	1,071,922	+24.6
その他 (千円)	575,226	892,604	+55.2
ファインケミカル事業 (千円)	612,800	905,816	+47.8
その他の事業 (千円)	71,842	75,750	+5.4
合計 (千円)	4,650,515	5,802,644	+24.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。